

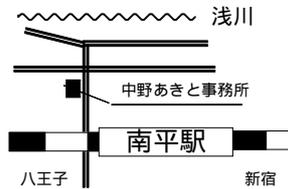


日本共産党市議会議員
中野あきと

みどりと清流



中野あきと事務所ニュース 発行責任者 小山敏正
〒191 0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350)



生活相談など
お気軽に
お立ち寄り下さい
中野あきと事務所

<https://midoritoseiryu.skr.jp>

物価高騰対策から教育・子育て支援、 憲法・平和・人権行政の充実・発展に全力！

市長選後初めての市議会に臨む 日本共産党市議団の立場 中野あきと

古賀壮志新市長のもとで初の議会、6月市議会が始まります。日本共産党市議団は、物価高で大変になっている市民の暮らしや、古賀市長が選挙で掲げた公約、選挙で問われた争点などを踏まえ、主に以下5点について6月議会に臨みます。

求められる

古賀新市長が公約に掲げた物価高騰対策

空前の物価高から市民の暮らしを守る施策が、緊急に求められています。

古賀市長も選挙の公約で「優先施策3本の柱」の一つとして「市民の暮らしを物価高から守る」「物価高に負けない賃上げを日野市から」と位置付けています。

古賀市長の物価高に対する認識と「賃上げを日野市から」の具体的な政策についてただし、国保税や下水道料金の軽減など市として緊急に取り組むべき物価高騰対策について提案し、実施を迫ります。

どうする

元副市長・北川原公園問題など、一連の重大問題

市政で解決が迫られているいくつかの重大問題についてどうするか。

元副市長による川辺堀之内土地区画整理事業をめぐる不正は、第三者評価委員会による評価・検証

が行われ、報告書が4月に市長に提出されています。

北川原公園の違法搬入路の問題は、専門家も交えた市民検討会から違法性解消へ向けた提言書が2月に提出されています。

また、市施行4地区の土地区画整理事業は、事業費の増大や長期化など深刻な困難を抱え、都市計画審議会での市民の検討が始まっています。

こうした重大問題にどう向き合うのか、古賀市長の判断が厳しく問われています。第三者委員会や市民の検討会による提言等をしつかり受け止め、解決を図るよう提案します。

問われる

古賀新市長の土木・公共事業の促進公約

古賀市長が公約に掲げている膨大な費用・コストを必要とする公共事業の工事再開、新規事業についてです。

休止している3・4・24号線の工事再開は、事業計画画、総額24億円のコストがかかる事業で、

この間の物価高騰を踏まえるとともにコストがかさむことは必至です。また、豊田南と南平を結ぶ入道橋(豊南橋)の建設も掲げられています。これも莫大なコストがかかることは避けられません。

教育・子育て問題から障害者、高齢介護の問題まで暮らしに関わる支援充実が、いま、切実に求められています。古賀新市長の認識・姿勢をただしたいと思います。

懸念される

古賀新市長の憲法・人権観

古賀市長は、議員時代に「新しい憲法の制定を求める意見書案」を議会に提案するなど、現憲法改正を求める立場を明確にしています。

平和・人権・地方自治などの条項についてどう認識を持っているのか。これまで進められてき

た平和や人権に関する施策や予算がどうなるのか。市長の認識・姿勢をただし、憲法・地方自治の原則に立つた行政運営を求めていきます。

実現に全力

市長選で共感を広げた「あるがビジョン」

市長選で私たちも全力で応援した、あるが精一市長候補の公約。「あるがビジョン」には多くの市民の方々から支持・共感の声が寄せられました。

街頭や集会での対話に基づいてつくられた50の「あるがビジョン」は、さまざまな階層・分野の方々から寄せられたリアルで切実な要求に根差したものでした。

みなさんと力を合わせ、6月議会から公約・政策の実現に全力をあげます。



市内東豊田で 5月14日

まもなく刈り入れ 麦秋の大麦畑

麦の秋と書いて「麦秋」(ばくしゅう)夏の季語です。日本語らしい表現です。風に揺れる大麦の穂。刈り入れは5月末です。ヒバリでも飛んでいそうですが、ヒバリはいませんでした。

地元のトヨタビル醸造用の大麦で、多くの農家が委託栽培をしています。

(Y)

<連載> 「不正問題を2度と繰り返さないために」
は今回休みます

市政と都政、都議選を前に思う

都政の役割と党都議団の力

清水とし子都議の魅力

中野あきと

都政が動けば市政が動く
都政の存在意義は大きい！

この間の日野市政の動きで感じることは、市民生活に関わるどんなに切実な課題でも、なかなか動かない。東京都が補助を始めたり、額を増額して、はじめて動き出すということです。18歳までの子ども医療費の無料化しかり、学校給食の無償化しかりです。

市長の姿勢が問われる問題ですが、同時に財政力豊かな東京都が市町村を励まし応援する、そうした役割が期待される、その存在意義が大きくなっていると感じました。

都政を動かす野党第一党 日本共産党都議団の威力

都政にその役割を發揮させる上で日本共産党都議団の威力は抜群。非常に重要な役割を果たしていると感じています。清水とし子都議をはじめとする都議団は総勢19人で都議会の野党第一党。国会で言うところの100人に匹敵する強力な議員団です。

その議員団が、他の野党各党に呼びかけ共同して都政に働きかけ、動かしています。「党都議団が提案すれば1年後には都政の政策になる。」

物価高騰対策として強力に推進していた水道料金の値下げにおいては、1年どころか半年で動きました。

党派を超えた日野の代表 清水とし子都議の値打ちと魅力

2023年の3月予算委員会で精神障害者と家族への支援を求めた質問を行った清水都議。障害者の家族会の方々の話をもとに迫った質問を聞いていた朝日と東京新聞の記者が相次いで記事を書き、「清水都議が声を詰まらせる」と、普段はやじの飛び交う委員会室も静まり返った」と評しました。

清水都議は、この4年間、元副市長の不正問題から、不登校への支援、公共交通、農業、そして障害者支援まで、現場、市民の切実な声を都政に届け続け、粘り強く都政を動かしてきました。

4月の市長選で市長候補として大健闘したあるが精一さんとともに、立憲民主党の大原まさこ衆議院議員は、「市民の立場に立って政策を実現できる議員は本当に貴重」と今回も全力で応援してくれています。

5月25日
南平ヤオコー前でシール投票を呼びかける清水とし子都議



「歩行者あり！止まれ」の看板は付いたが横断歩道の増設はまだ



通学路にもなっている南平9丁目と平山3丁目間の道路は、急な坂道でカーブも多く、横断などに危険が指摘されていました。このほど、「歩行者あり！止まれ」の看板が2箇所に付きましたが、住民の要望が強い「横断歩道」の増設は行われていません。6年ほど前、南平9丁目側に60軒ほど住宅が建設されました。住民の多くは若い層で、小学生などもたくさんいます。平山小学校に通うには、道路を横断しなければなりません。住民からは中野あきと事務所に横断歩道増設の要望が寄せられ、中野市議が日野市に要請しています。

憲法のつどい in 日野 350人が参加

参加の市民 日野市民会館前



5月10日、日野市民会館大ホールで『憲法のつどいin日野』が行われ、350人が参加しました。最初に松元ヒロ「憲法くん」のライブが開催され、憲法を学び直し、憲法の価値を再発見する場となりました。続いて「憲法のつどい」で3人の方がスピーチし、市民会館前から日野駅まで「憲法いかして、平和をつくろう」などコールしパレードしました。

架け替え工事の日野橋 仮橋通行に

多摩川に架かる日野橋は架け替え工事のため5月14日から30日ほど上流の「仮橋」での通行となりました。



政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円

[無料法律相談日] 2025年7月

(お申込み) 042-582-1042
わたなべ三枝・清水とし子事務所
3日(木)午後6時~8時
わたなべ三枝・清水とし子事務所
10日(木)午後1時~3時
市役所6階共産党控室

短信

「国債発行には頼らない御党の姿勢は本当に立派」。5月12日の衆院予算委員会で、消費税減税を求める共産党辰巳孝太郎議員の質問に、石破茂首相からこんな言葉がもれました。辰巳氏は「政治の一番の仕事は暮らしを守ること。出口の見えない不安を取り除くことだ」と、減税に踏み出すよう首相に迫りました。物価の上昇は食料品だけでなくありません。「毎日の買い物にかかるすべての消費税負担を減らす」こと。これが一番の暮らし応援です。その財源は年間15兆円です。安倍政権は2度も消費税増税を行いながら、法人税を連続的に引き下げました。しかし賃上げにも設備投資にも回らず、企業の内部留保が膨らみました。所得が1億円を超えると税負担が下がる「税優遇」も続いています。辰巳議員は、自公政権が進めてきた大企業への法人税減税を止めれば年間11兆円の財源が、富裕層への「税優遇」を止めれば併せて20兆円超。おつりは教育費無償化などにあてようという提案しました。「社会保障はどうするのか」と減税に逃げ腰の首相。「社会保障の財源は削らない」と辰巳議員はきっぱり。「大量の国債発行は円安を招いて物価高に拍車をかける財源は取るべきところから」と国債依存を批判しました。この質問は、日本共産党のYouTube動画でご覧いただけます。よろしければ「高評価」「コメント」をぜひ。(K)